

第6回 臨床研究のデザイン力と 統計解析を身につける

ICEワークショップ

Institute for Clinical Effectiveness

主催 特定非営利活動法人 臨床評価研究所

共催 株式会社 ネクシス 後援 メハーゲングループ



講師

森本 剛

(もりもと たけし)

兵庫医科大学
臨床疫学教授

臨床医としての視点を重視した研究
デザインや統計解析、論文執筆の人
気は高く、全国各地で実践的な臨床
研究教育を開催しています。

iw'sのゴール
ice workshop

臨床研究の計画書の作成からデータ
マネジメント、統計解析、報告までの一
連の流れを講師やチューターの支援のもと
でシミュレーションします。さまざまな専門領
域の臨床研究を数多く実施した講師が研究
デザインから統計解析までの講義と実習
を一貫して担当することで、オムニバス
形式の講演会では決して得られな
い生きた実践的な技能を得る
ことができます。

2024年

日程

7月13日(土)~15日(月・祝) 2泊3日

14時00分受付開始

(JR成田駅集合13時30分/最終日12時30分JR成田駅解散予定)

会場

アートホテル成田

(JR成田駅および成田空港より無料シャトルバスあり)

〒286-0127 千葉県成田市小菅700

TEL. 077-585-6100 <https://www.art-narita.com/>

定員

15名 (3グループ)

※定員を超過した場合は主催者にて抽選

費用

参加費 9万円 ※交通費は別途参加者負担

持参品

▶ ノートパソコン

※期間限定統計用ソフトウェアをインストールします

▶ ACアダプターおよびマウス など

※長時間の作業となります

参加
資格

臨床研究に関わる医師・医療従事者

これまでの参加者

- ◎臨床研究に興味があるが、どこから手をつけていいかわからない
- ◎自己流で臨床研究をやってきたが、正しいのかどうか分からない
- ◎これまで、臨床研究論文を書いてきたが、なかなか国際誌に採択されない
- ◎臨床研究をやりたい部下・若手に教えられるようになりたい

お申込み方法

参加をご希望の方は、右記QRコード

または株式会社ネクシスWEBサイト内の申込みフォームからお申込みください。

株式会社ネクシス iw's 申込みフォーム
ice workshop

URL <https://www.nexis-net.jp/ice-ws/>



さまざまな専門領域における患者を単位とした臨床研究を科学的に実施し、報告するために最低限必要な基礎知識と技術を理解します。講義やハンズオン、グループワークを組み合わせ、実践的な知識が身につくようにプログラムが組まれています。

Program

1 日目

7月13日 土

10時間

講義

臨床研究デザイン

科学的な臨床研究を実施するための原理原則や、臨床研究を計画する上で骨格となる研究デザインについて講義します。

グループワーク

臨床研究計画

グループごとに、3日間で研究計画から解析までシミュレーションする臨床研究計画書を作成します。臨床研究の実施に必要な調査票なども作成します。

ハンズオン

統計ソフトウェア導入

統計ソフトウェアの基本的な操作法とデータの取り込みやデータの保存を、チューターの支援を受けながら実習します。

講義

統計解析の原則

臨床研究で用いられる基本的な統計学の原則について、最小限の数式と実例を用いて理解し、さまざまな解析に応用可能なセンスを身につけます。

ハンズオン

統計解析実習

統計ソフトウェアを用い、チューターの支援を受けながら実習用データで各種の統計解析を体験します。

昨年の参加者の声

・講義はわかりやすく、学んだことをすぐにハンズオンで実際の解析の仕方を学べるところがとても勉強になった。

・思考回路のつまづきポイントを一緒に探して下さり理解が深まりました。

・論文が出来あがる過程を学ぶことで、自分でも論文作成にとりかかろうという意欲がわいた。

2 日目

7月14日 日

15時間

講義

生存解析と多変量解析の構造

臨床研究で頻用される生存解析や多変量解析について、基本的な考え方を理解し、適切に利用できるセンスを身につけます。

グループワーク

データ解析実習・図表作成

グループごとに選択したテーマについて、研究計画から解析、報告までの研究の流れをシミュレーションします。実習用データを用いて、研究目的に合致した統計解析を実施し、図表を作成します。

講義

現実性と科学性のトレードオフ

臨床研究を計画、実施する際に遭遇するさまざまな問題について、あらかじめ勘案しておく基本的・応用的事項について理解します。

グループワーク

発表準備

これまで準備した研究計画や解析結果をあらためて吟味し、特にトレードオフの関係を勘案した実施可能性について検討します。

・グループワークで、色々意見を交わすことで気づかされることが多かった。

・細かいsuggestionがあり、大変有意義であった。

3 日目

7月15日 月・祝

3時間

グループワーク

研究計画書・解析結果報告

グループ単位で研究計画および研究実施後の解析結果を報告します。報告をもとに講師と参加者が現実的な議論を行います。

ラップアップ

合宿後の実践に向けて

今後の実際の研究実施に向けて残る必要な技能や今後の課題をレビューします。

・とてもクリニカルに適した考え方でポイントがわかりやすい。

・忙しい業務の中でも、自分で学び続けること、解決しつづけることをしていきたいと思いました。